

## 編集後記

アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

電話 (06) 7172-0165

E-Mail avenir4you@gmail.com

〒561-0884 大阪府豊中市岡町北 1-7-9

表紙の写真は、たまたま通りかかった公園の桜の木です。

また桜が蕾をつける季節となりました。

高校の時の先生が、時の流れだけは絶対だと教えてくれたことを思い出しますが、私もそれなりに年を重ねた今、本当にその通りだと実感しています。

この3月であの震災から3年経ちました。

3年という節目を機に多くの特集が報道されました。

想像を絶する事態。何度見ても、その都度、心が痛みます。

決して忘れられない、そして忘れてはいけない、震災の記憶。

その一つ。当時、福島原発の現場に向かった東京消防庁のハイパーレスキュー隊の記者会見です。

隊長が、何が大変だったかを記者に聞かれた時、「隊員の士気が高いので……」と言ったあと、いったん絶句しその後声を詰まらせながら、

「(隊員の) 家族ですね・・・本当に申し訳ない。この場でおわびとお礼を申しあげたい」と涙ぐんだ場面。

別の方は奥さまにメールで、「**福島現場に行ってくる**」と伝えたところ、奥様からは、次のようなメールが返ってきたとおっしゃっていました。

「**日本の救世主になってください**」

本人やご家族の胸中は察するものがありますが、高濃度の放射能が立ちこめる危険な事故現場に向かう夫を勇気づけたといえます。

福島事故現場と比べることはできませんが、会社で働く社員さんの仕事もまた、家族に支えてもらっている点では同じだと思います。

家族の思いに支えられて、社員は仕事ができているということ。

経営者や総務に携わる方は、そんな社員の家族のことを忘れてはいけません。

今年大河ドラマは私の好きな戦国時代の話(『軍師官兵衛』)ですが、今までの映画やドラマも、この人物の登場シーンにはいつも緊張感があるように感じます。

「**織田信長**」。

残忍で徹底主義者であった信長は、部下の進言ですらめったに聞き入れることのなかった天才肌の人物でしたが、それでも、秀吉の正室「ねね」には優しくったといえます。

家族を大切に思ってくれる会社を、社員も嬉しく思うのではないのでしょうか。

社員も、家族に誇れるような仕事をして、誇れるような会社にいたいと思っているはず。

私が尊敬している、ある会社の社長さんが、社員の奥様に日頃の感謝のお手紙を書かれたと聞きました。素敵なことだと思います。

もしかすると、その後奥様も「**会社のヒーロー(救世主)になってね! (\*^-^)**」

な〜んて、ご主人を朝送り出してくれたかもしれません。。

でもそんな奥様もまた、カッコいいですよ。

